

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 7月 13日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県彦根市宮田町591-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
フジテック株式会社
代表取締役社長 岡田 隆夫
(代理人)総務部長 佐藤 憲一郎

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更)]
[事業者行動報告書を作成]
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	フジテック株式会社 代表取締役社長 岡田 隆夫
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市宮田町591-1

1 事業者の概要

事業所の名称	フジテック株式会社 ビッグウイング					
事業所の所在地	滋賀県彦根市宮田町591-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	3	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 エレベータ・エスカレータ製造業
事業の概要	エレベータの研究開発・製造					
従業員の数	700	人	作業時間	8	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	6	台	熱源設備	4	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	1	台
				照明設備	200	kW
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2024	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

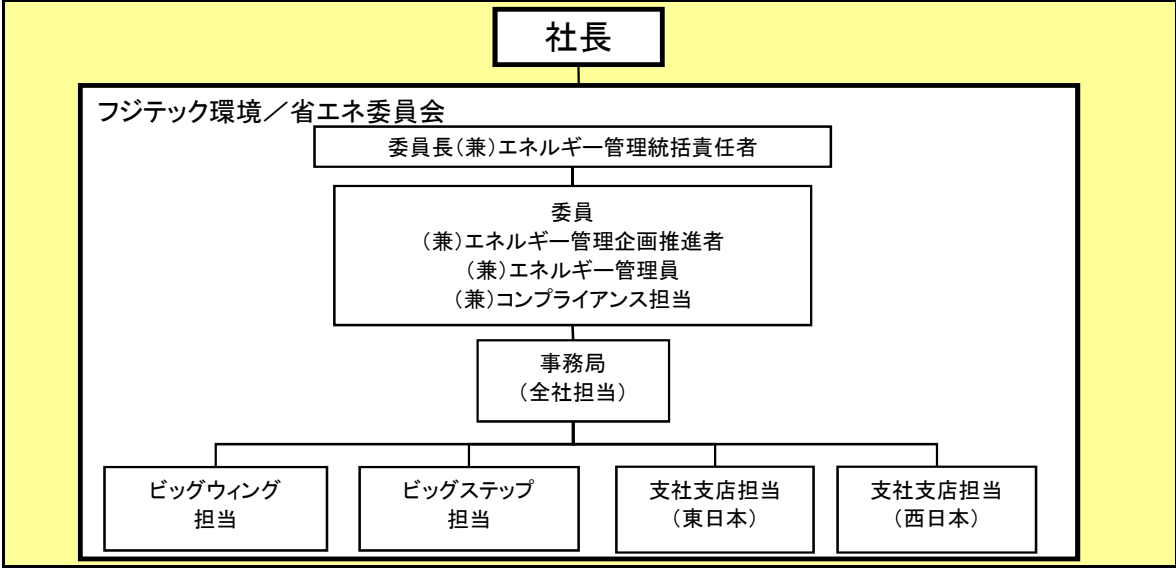
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

フジテックは、ISO14001の認証を取得し、積極的に環境活動に取り組んでいます。
 <環境方針>
 持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通じて環境との共生を図る

1. フジテックグループ全員参加
 ダイバーシティ&インクルージョンを尊重する社会を実現し、環境保護とグループの持続的な発展を目指します。
2. コンプライアンス遵守
 環境関連の法規制、条例及びその他の環境保護を目的とする要求事項を守ります。
3. つくるもの、つかうものの責任
 - ①事業活動において、エネルギー・資源の有効活用に努めます。
 - ②資源の4R(Refuse, Reduce, Reuse, Recycle)を推進し、廃棄物量削減に努めます。
 - ③大気・水質・騒音・振動・悪臭など公害防止、ならびに、化学物質・危険物の管理に努めます。
4. 環境にやさしい商品開発
 お客様の環境活動につながる商品の開発、エネルギーの削減に寄与します。
5. 啓発
 環境保護の意識向上とフジテックグループの一員としての自覚を促すため、すべての役員・社員へ啓発を行います。
6. 情報開示
 環境方針、環境実績は、すべての人に公開します

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

◇環境にやさしい商品の開発

主力商品 標準型エレベータにおける省エネ技術開発の取り組み

2000年以降: 2012年1月にかご内照明のLED化を標準適用し、消費電力を削減した
 (600kg積載: 46W→32W【点灯時】)
 現在は、更なる消費電力削減に向け、待機電力削減に取り組んでいる

2013年以降: 2015年9月には「行先階予約案内システム」の評価を行い、
 従来比約5%の消費電力削減を確認した。
 また、内製インバータを適用することで盤の小型を実現し、
 重量比で30%以上削減した。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	工場の冬季暖房使用時間の短縮	2012年度～	
2	運用改善	事務所の蛍光灯の消灯と工場天井照明の消灯	2012年度～	
3	運用改善	冷暖房の設定温度の徹底化	2012年度～	
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
Big Wingとして本格稼動した2007年度を基準として		
原単位	「 エネルギーの使用量(kL) (温室効果ガス排出量) 出来高-変動費 」で 毎年1%削減を目指します。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,182					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,777	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,777					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		27.86					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	再生可能エネルギー等の利用発電設備の導入検討	2022～2024年度	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	再生可能エネルギー等の利用発電設備の導入検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0					
上記のうち自家消費量	kWh	0					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
エレベータにおいて「エネルギー消費量の削減」、「温室効果ガス排出量の削減」、「再生可能エネルギーの導入」を進め、「CO ₂ ネットゼロ社会の実現」へ貢献します。	

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>① エレベータ駆動装置の小型、軽量化を通じて「エネルギー消費量の削減」を進めます。</p> <p>② 現行の樹脂部品の材料にリサイクル樹脂を適用することで、樹脂部品製作時に発生するCO₂量を1/2に削減します。</p> <p>③ MPP盤の小型化による部品使用量削減を通じて、製造時の「エネルギー消費量の削減」を進めます。</p> <p>④ 機械室ありエレベータ向け群管理制御盤のリニューアルを通じて「エネルギー消費量の削減」、「温室効果ガス排出量の削減」を推進します。本年度は、使用部品の削減、小型化を実現するシステム構成を確立し、商品化への道筋を立てます。</p>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,716					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.351					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0					
クレジットの購入	t-CO ₂	0					
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	移動の抑制	新型コロナウイルス感染状況に関わらず、TV 会議を推奨し、出張を抑制する。	毎年	
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				()年	()年	()年	()年	()年
	保有車輛の数	台	17					
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0					
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	4R	廃棄物の分別、再利用化を促進し2021年度基準原単 位1%の削減ならびに、リサイクル率95%以上達成を目 指す。	2022年度	
2	ヨシ刈り活動に よるCO ₂ 回収 量の算定	ヨシ刈りイベント等への参加を推進する。	毎年	
3	その他	環境教育の推進活動として、全従業員に対し環境一般教 育を実施する。	毎年	
4	その他	定期的な緑地会議を開催し、専門家指導による緑地の維 持保全対策を実施する。	毎年	
5	その他	新プラ法について	毎年	